



がんばっています

佐渡市立金井中学校

金井中学校では、郷土愛、勤労観・職業観を育む教育の実現に向けて、地域文化体験や職場体験、ボランティアなどさまざまな体験活動を実施しています。

その中から、1学年で実施する地域文化体験活動について紹介します。

① オリエンテーション

1学期、「佐渡おけさ」「日本舞踊」「能」「民話劇」「鬼太鼓」の5つの講座について、地域の専門家(講師)による実演を見たり、文化活動の歴史や魅力、活動への思いについて話を聞いたりしました。そして、学習したい講座を1つ選びました。

② 技の取得

2学期に入り、練習が始まりました。せりふや所作、踊り方、楽器の使い方など難しいものが多く、初めはまったく思うようにできませんでしたが、講師の先生方が何度も何度も歌って聴かせたり、演奏して見せたり、踊りや演技の所作をやってみせたりしてくれました。



それを、生徒は一生懸命真似をして、少しずつできることが増えていきました。

③ 発表会

11月26日、講師の方々、1年生の保護者や来年度中学校に入學する金井小の6年生をお招きし、発表会を行いました。それぞれの発表に会場からは大きな拍手が起き、生徒は成就感をもつことができました。

生徒は発表後、「日本舞踊を通して、礼儀や作法を学ぶことができませんでした。」「能の学習を通して、『所作』や『運び』『かまえ』など普段と違った動きを学ぶことができました。」「佐渡に昔から伝わる民話をやって、その歴史や文化が少しわかったような気がします。」「といった感想をもちました。地域文化のよさに気付くことができました。

◆佐渡市教育委員会 学校教育課

☎23-4898 (両津支所内)



生活情報 さど

冬つい、うっかりが

思わぬ事故に

毎年、暖房器具の事故が多く発生しています！

NITE(ナイト)、独立行政法人製品評価技術基盤機構では、収集した事故情報の中から、毎年冬の暖房器具等の事故防止の注意喚起を行っています。取扱説明書をよく読んで正しく使用しましょう。

い。寝返りをうったときに、布団や毛布などがストーブに触れるとヒーターの熱で火がつくことがあります。

【事例①】石油ストーブの火を消さずに給油し火災が発生

原因 石油ストーブの火を消さずにカートリッジタンクに給油した際、カートリッジタンクのふたの締め方が不十分だったために灯油がこぼれ、ストーブの火が引火した。
アドバイス 給油するときは、必ず火を消してください。カートリッジタンクのふたが完全に締まっているか確認しましょう。

【事例②】電気ストーブに毛布などが触れて火災が発生

原因 電気ストーブの近くに置いていた毛布や雑誌、衣類などが触れて火がついた。
アドバイス ストーブの近くに燃えやすいものを置かない。カーテンの近くで使用するのも危険です。寝る時はスイッチを切ってください。

【事例③】電気あんかから出火し火災が発生

原因 電気あんかを収納するとき、本体に電源コードをまきつけていたため、本体付け根部分のコードが断線し、発生した。
アドバイス 電気あんかやヘアドライヤーなどを収納するとき、本体にコードを巻きつけないでください。コードの付け根部分が断線し、発火の原因になります。

事故ナイトいいね

(平成26年度NITE冬の事故リポートより出典)

お問い合わせ

佐渡市立消費生活センター
(佐和田行政サービスセンター内)
(平日)午前9時~午後4時
☎57-8143

消費者ホットライン

☎188(嫌や!泣き寝入り)